

緊急続報

市に逆らわぬよう圧力

岡本泰明市長が、市民である労働者を不当に解雇に追いやった疑いがテレビで報道されたが、続報として、さらなる市の悪行疑惑が取りあげられた。担当課長が、業者に圧力をかけたというのだ。

毎日放送の報道番組「VOICE」で、岡本市長の暴力的言動が放映され(1面参照)、多くの市民が憤るなか、同番組はさらなる問題を提起した。

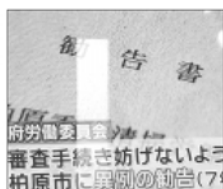
10日間のハンストによる抗議も、岡本市長は暴言ま

環境保全課M課長が「市に逆らっても…」

で吐いて無視。そのため、職を失う従業員らは大阪府労働委員会に救済を訴えた。この従業員(浜浦クリーン)は、別の業者(K社)にも委員会での証言を依頼し

「あんな(委員会への出頭)拒否できるんですよ。あの音源が残っている以

それなのに、なぜ断つたのか。その謎を追究する過程で、同番組は市の担当者らと、この業者との会話の音源を入手した。



毎日放送「VOICE」より

上、この弁明はむなし。番組の取材に対して、この業者も「圧力を感じた」と語っている。

府労働委員会も市に異例の勧告

それだけではない。大阪府労働委員会もこの事実を把握、柏原市に対して「証人の出頭意思に影響を及ぼす

はまうら佳子の元気になるコラム

特に、このところ自分の無力さを思うことも多く、それに加えての東日本大震災…。ちょっと気が滅入っていました。

でも、春の日差しが暖かくなり、玉手山公園の桜も満開に。気分も晴れて、元気が出てきました。

先日も、市長派と思っていた人から激励の声をかけられ、うれしい驚き。やっぱり正しいと信じてることを貫いていると、報われるんだと感じました。

今日もオリーブは玄関先でひなたぼっこです。私も、のんびり穏やかに過ごしたい。本当はオリーブと似ているんです。でも、それはもう少し「おあずけ」。さあ、柏原のため、もうーがんばり!



「犬は飼い主に似るって言うけど、全然似てへんなあ。知る知人に言われました。うちの飼い犬オリーブのことです。自他共に認めるネコ好きの私ですが、実は犬も飼っているんです。

オリーブは小振りの柴犬。玄関先でひなたぼっこしていますが、お客さんが来てでも全く吠えません。人なつっこいんです。

「こんなおとなしい柴犬見たことないわ」とその知人。議会で、市長に吠えて噛みついてばかりいる私とは大違いと言いたいんでしょうね。ちょっと失礼やわ。私だってやさしいところもあるし、弱気になることもある。吠えて噛みついてばかりいるわけではありませんよ(笑)。

市民の声

4月4日の夕方、毎日放送のニュース番組「VOICE」に、いきなり市民に殴りかからんばかりに鬼の形相で掴みかかっている男の映像が映し出された。なんとそれは現職の柏原市長ではないか!

ニュースの内容から、柏原市長による一方的なゴミ収集業者の契約解除により職を失った従業員のハンガーストライキに対して、市長が何かを喚きながらそのストの従業員らに掴みかかっていたことが分かった。

柏原市の環境保全課の課長は、経済効率のための入札であり、従業員が職を失うのは業者側の責任であって、市には一切の責任は無いと言いつつ、

岡本市長、あなたは人として失格だ!

TVの映像が全てを証明している



岡本市長の暴力的な姿がテレビに映し出された=毎日放送「VOICE」ホームページより

しかし、番組に登場した労働問題に詳しい弁護士や、他自治体の課長は一般家庭ゴミの収集は業務の継続性や安定性が大事であり、経済性だけで委託契約を解除する柏原市のやり方は問題だと話した。

この、問題ありの不透明な入札に対して、従業員側が何度説明を求めても全く市長が対応をしてくれなかったことから、法に則り、たった「1日」のゴミ収集ストライキを実施したことに対して、市長が突然、事前に何の説明も無く委託収集運搬業務の契約解除した。これに対し、仕事を突然に失った従業員の中の一人が抗議の意味でハンガーストライキを実行し、なんとそれに対して市長は、「お前らの生活なんか知ったことか!」などと喚きながら、その支援の従業員らに掴みかかっていたのだ。

こんな無様な岡本市長は、行政を預かる資格を問う前に、人として失格者である。この市長は、即刻、市長を辞職すべきである。あなたに柏原の市政を預かる資格はない!

この問題以外にも、「屠殺場問題」をはじめ、さまざま悪い噂を聞いている。

岡本市長、この男は、柏原市民の知らないところで一体何をしようとしているのか? そして、市長の独裁を止められない市議会議員たちは、一体何をしているのか?

市民はまず議会を傍聴し、市長を監視し、市議会議員たちの仕事ぶりをしっかり見てみようではないか。

おとこわり: もっと長くかつ辛辣な投稿でしたが、紙幅の関係上、意味を損なわない範囲で短くまとめました。

みなさんの声募集中です。



電話 072-977-5502 FAX 072-977-8782

〒582-0026 柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号 info@change-kashiwara.com

本紙の報道に加え、テレビでの報道、また労働委員会も事実を把握するに至った。岡本悪政に終止符が打たれる日が近いことを、市民は願っている。

「自然災害は、際限ない欲望や傲慢に対する天罰」という趣旨の発言をしたが、汚職体質の開発行行政に対しては、魚の瀬の地すべりが牙をむかないよう、切に祈りたい。

「犬は飼い主に似るって言うけど、全然似てへんなあ。知る知人に言われました。うちの飼い犬オリーブのことです。自他共に認めるネコ好きの私ですが、実は犬も飼っているんです。

オリーブは小振りの柴犬。玄関先でひなたぼっこしていますが、お客さんが来てでも全く吠えません。人なつっこいんです。

「こんなおとなしい柴犬見たことないわ」とその知人。議会で、市長に吠えて噛みついてばかりいる私とは大違いと言いたいんでしょうね。ちょっと失礼やわ。私だってやさしいところもあるし、弱気になることもある。吠えて噛みついてばかりいるわけではありませんよ(笑)。

「自然災害は、際限ない欲望や傲慢に対する天罰」という趣旨の発言をしたが、汚職体質の開発行行政に対しては、魚の瀬の地すべりが牙をむかないよう、切に祈りたい。

た浜浦佳子議員が、かつて役員をつとめた会社だ。私怨によって浜浦クリーンを徹底的に潰し、自らの息のかかった業者に便宜を図る岡本市長と市長に逆らえない職員による当初からのシ

ナリオの実行なのだ。このような事情を知る業者にとって、M課長の発言は「市(岡本市長)に逆らったら浜浦クリーンのようになるぞ」という脅しと感じたとしても不思議はない。

このように、M課長の発言は「市(岡本市長)に逆らったら浜浦クリーンのようになるぞ」という脅しと感じたとしても不思議はない。

「自然災害は、際限ない欲望や傲慢に対する天罰」という趣旨の発言をしたが、汚職体質の開発行行政に対しては、魚の瀬の地すべりが牙をむかないよう、切に祈りたい。